

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2018年2月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2018年2月6日～26日
- 調査対象 200社
- 回答企業 110社
- 回収率 55.0%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の2月の状況を見ると業況DIは、前月より8.7ポイント悪化の▲20.0となった。

2017年9月以来6ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

業種別では、建設業、製造業、卸売業、サービス業の4業種において悪化した。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲15.4、当月に比べ4.6ポイント改善を見込んでいる。

業種別でみると、製造業、卸売業、小売業で改善が見込まれている。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2017年 9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	先行き見通し 2018年3月～5月
業況	▲4.7	▲6.9	▲14.7	▲6.7	▲11.3	▲20.0	▲15.4
売上	8.5	▲0.9	▲0.9	6.7	2.8	▲2.8	▲8.2
採算	▲2.9	▲10.4	▲13.8	▲7.7	▲17.8	▲20.0	▲17.3
仕入単価	▲34.0	▲31.3	▲39.5	▲33.3	▲41.1	▲41.8	▲38.2
従業員	35.9	34.8	32.1	35.2	30.8	22.7	25.5
資金繰り	▲4.8	▲3.5	▲11.0	▲2.9	▲5.6	▲10.9	▲10.0

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2017年 9月	10月	11月	12月	2018年 1月	2月	先行き見通し 2018年3月～5月
建設	23.1	7.2	0.0	3.7	▲3.7	▲22.2	▲22.2
製造	9.1	▲4.2	▲4.4	0.0	▲7.4	▲21.8	▲13.0
卸売	▲13.6	▲8.3	▲13.6	▲13.1	▲19.0	▲20.0	▲16.0
小売	▲17.7	▲5.6	▲46.6	▲26.7	▲33.3	▲31.3	▲12.5
サービス	▲36.8	▲28.5	▲25.0	▲6.3	0.0	▲5.3	▲10.6

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・社員の高齢化が悩み(総合工事) ・技術職員不足。募集しても応募者がいない(設備その他) ・雪解け次第で好転か？4月後半から従業員不足になるかも？(建築) ・20代職員不足と技術者の高齢化対策(設備その他) ・新年度に向けて仕入資材価格の値上がりがあるとの情報が入ってきている。現時点での工事金額(価格)の上昇は見込めない(設備その他) ・春先の工事受注が前年に比して減少しており、売上高の減少による資金繰りの悪化等が懸念される状況(建築)
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット普及等の影響もあり、紙媒体の印刷物が減少している。また流通関係の販促物も減少傾向にあり、印刷市場の状況は以前厳しい。Webサイト、動画ニーズも強くなっているが、紙媒体の減少を補う規模にはなっていない(印刷出版) ・従業員不足により安定的な人材確保のためベトナム人採用の検討に入る(食料品) ・受注は好調で秋口まで確保している。賃金はアップで検討(金属窯業ほか) ・春のベースアップをどの程度にするか思案中(金属窯業ほか)
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・特段の変化なし(食料品) ・前年度と同等の業況にある。仕入単価の上昇に売上単価の見直しも必要(機械鋼材) ・2月は売上・利益とも前年比90%前後の見通し。年度末に期待したい。仕入状況の動きにあまり変化は見られない(機械鋼材) ・灯油の仕入は下がり傾向となっており、販売価格も下がると思われるが、当面は小幅に推移すると想定される(その他) ・中小企業の3%以上の賃上げ(その他)
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・欠員補充の採用がなかなか出来ない。燃料価格上昇による節約志向が出始めている(その他) ・従業員不足が解消されない(その他) ・ウインターセールも終わり、冬物商品から春物商品の入れ替え月になったが、お客様の来店数が減少し例年とおり売上が厳しい月。新商品入荷次第、顧客にアプローチをかけ前年売上を確保したい(衣料品) ・仕入高どまり(その他) ・仕入価格の動向(食料品)
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・FITの海外客が増加しており、全体的に2月の売上は好調。3・4月も前年微増の状況。引き続き昨年より仕入(食材・重油)は上昇しており採算は前年並みの見通し(ホテル旅館) ・道央方面のスキー場オープンにより売上増。旭川および道北は苦戦(理美容クリーニング) ・原油高。天候不調(大雪)(運送) ・雇用不足と賃金(パート・アルバイトの時間給)上昇。仕入れ特に海産物の上昇(ホテル旅館) ・大雪のため事故台数入庫が多いが、車検台数が少なかった(整備業) ・天候の影響(大雪など)や突然のキャンセル等なく、まあまあの集客だった(飲食) ・大雪、寒波の影響が大きく売上・客数ともに大幅減。逆に光熱費、食材費は高止まりで大変厳しい去年完全禁煙にしたが、夜の集客が落ちたのは少なからずその影響があると考えられる。求人広告費がかさむ(飲食)

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI11.1 ポイント悪化、採算 DI7.4 ポイント悪化、仕入単価 DI3.7 ポイント悪化、資金 DI3.7 ポイント悪化、従業員 DI18.5 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 18.5 ポイント悪化となった。業種別では、総合工事 8 ポイント、設備その他 30 ポイント、建築 20 ポイント悪化となった。春先の工事受注が前年に比して減少しており、売上高の減少による資金繰りの悪化等が懸念されるとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI16.1 ポイント悪化、採算 DI7.6 ポイント悪化、仕入単価 DI19.5 ポイント改善、資金 DI8.7 ポイント悪化、従業員 DI6.3 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 14.4 ポイント悪化となった。業種別では、印刷出版 15 ポイント改善、家具木材で横ばい、食料品 7 ポイント、金属窯業ほか 38 ポイント悪化となった。従業員不足により安定的な人材確保のためベトナム人採用の検討に入るとの声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI6.3 ポイント悪化、採算 DI6.5 ポイント悪化、仕入単価 DI16.2 ポイント悪化、資金 DI12.0 ポイント悪化、従業員 DI7.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 1.0 ポイント悪化となった。業種別では、食料品 6 ポイント改善、繊維・衣服等、機械鋼材、その他で横ばいとなった。2 月は売上・利益とも前年比 90%前後の見通し。年度末に期待したいとの声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI0.8 ポイント改善、採算 DI2.0 ポイント改善、仕入単価 DI5.0 ポイント悪化、資金 DI7.9 ポイント改善、従業員 DI22.0 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 2.0 ポイント改善となった。業種別では、衣料品 17 ポイント、その他 20 ポイント悪化、食料品 33 ポイント、自動車 20 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり実体はほぼ横ばい。欠員補充の採用がなかなか出来ない。燃料価格上昇による節約志向が出始めているとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI10.5 ポイント改善、採算 DI12.3 ポイント改善、仕入単価 DI5.5 ポイント悪化、資金 DI4.0 ポイント悪化、従業員 DI4.4 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 5.3 ポイント悪化となった。業種別ではホテル・旅館、その他、整備業、運送で横ばい、理美容・クリーニング 50 ポイント、飲食 33 ポイント悪化となった。大雪・寒波の影響が大きく売上、客数ともに大幅減。逆に光熱費、食材費は高止まりで大変厳しいとの声も寄せられている。</p>